

第1回ワークショップ結果概要

東秋川橋西側区域

日 時：平成30年10月13日（土） 19時～21時

会 場：野辺地区会館

参加者：11人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 本日のワークショップについて
4. 情報の共有
5. 質疑応答
6. グループワーク
7. ふりかえり
8. 閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法について説明するとともに、参加者の情報共有として、公共交通を取り巻く当該地域の現状について説明した。

■質疑応答

配布した資料やこれまでの経過について、ワークショップに入る確認のための質疑応答を行った。

問：野辺南のバス停は、るのバスのみが停車するのか。

答：西東京バスの通常の路線バスも停車する。

問：資料15頁に、ワゴン車も通れない道とあるが、普通にワゴン車が通っているのではないか。

答：一般車両が通れる道と公共交通に用いる車両が通れる道とでは幅員の条件が異なる。この意味は、路線バスのような公共交通に用いる車両としてのワゴン車が通れないという意味である。

問：資料13頁の図の表現（利用者が少ないと交通サービスを維持することが困難になる）は、どのような意図か。

答：利用者の減少とサービスの低下は相互に影響し合っているものであり、どちらか一方の原因という意味ではないという趣旨を示した図である。

問：道路の幅員が狭いと改めて言われても困る。行政としても認識を持ってもらいたい。もっと違う議論の仕方はないのか。

答：これは現状の道路幅員においてどのような車両が通行可能であるかを知っていただくための資料である。道路の幅員が狭いことについては市も認識している。今後、公共交通対策の取組として、道路の拡幅が必要ということになるのであれば、それは議論の中で課題として出していきたい。

問：るのバスの利用状況を伺いたい。定員は何人が。また、満員になることはあるのか。

答：定員は34人で、朝に病院へ向かう便では満員になることが多いが、病院を過ぎたところでは乗客が減少する。

※ ワークショップ時に定員 24 人と申し上げましたが、誤りでしたので、訂正させていただきます。

問：生活バス路線への補助とあるが、全てのバス路線に対して支出しているのか。

答：赤字となっている一部路線に対してのみ補助している。

問：盆堀地区交通の利用状況はどうか。また、利用したい時間に来てくれるのか。

答：ワンボックス車を戸倉のバス停まで運行しているものであり、ワンボックス車ということからも、乗車人員は限られる。。また、所定のダイヤで一日に3便を運行している。以前は6便であったが、利用状況から、現在は昼の買い物の時間帯を中心とした3便の運行となっている。

問：本ワークショップは提言書の内容に基づき実施しているものか。平成 29（2017）年の報告書は閲覧可能か。

答：平成 29（2017）年に取りまとめた「あきる野市公共交通のあり方検討報告書」については、市のホームページで公開している。また、本ワークショップは、ご指摘のとおり平成 28 年度の検討会議において、短期的な取組と中長期的な取組が提示された中の、短期的な取組の一環として実施しているものであり、これを受け、公共交通空白地域の解消に向けて取り組むこととしている。

■第1回ワークショップの様子



■グループワークの結果 テーマ：私と交通

「日頃、どのような外出をしていますか?」「外出についてどのようなことで困っていますか?」との設問のもと、2つのテーブルに分かれ、テーブルごとに意見を出し合い、後にテーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有した。

■外出の目的と目的地

○通院

- ・市内：公立阿伎留医療センター、あきる野クリニック、佐藤クリニック
- ・近隣市町：青梅総合病院、八王子医療センターなど

○買物

- ・市内：・アルプス、いなげや、コメリ、秋川駅周辺（東急）
- ・近隣市町：イオン（日の出町）

○その他

- ・運動・仕事は区域の周辺や市内中心部
- ・運動で市内中心部

■交通手段

- ・自家用車が大半
- ・通勤にはJRも利用
- ・区域内や近隣では自転車を利用

■外出で困っていること

○車利用者

- ・道が狭く、歩行者が危険、自動車のすれ違いや自転車の追い抜きもできない、救急車が通れない時もあるなど問題が多い
- ・抜け道として使っている車がスピードを出して危険
- ・車がないとどこへも行けない
- ・ガソリン代が高くなった
- ・駐車場が満車で使えない時がある
- ・大雪の時は除雪されない
- ・免許を返納すると交通手段がなくなる
- ・歩道がない、狭い
- ・車に乗れなくなった時にどうすればよいのか

○自転車利用者

- ・歩道がない、狭い
- ・どこへ行くにも坂を上がらなければならない
- ・バス停が遠い
- ・雨が降ると自転車が使えない

○JR利用者

- ・1時間に2本のため時間がかかりすぎる
- ・電車は本数が少なく、拝島で乗換えも必要で不便

○その他

- ・バスは帰りの時間が合わず、帰ってこれなくなる
- ・バスは乗らないから、乗り方が分からない

■テーブル別結果概要

テーブルA

■外出の目的と目的地

○通院

- ・市内：あきる野クリニック、佐藤クリニック
- ・近隣市町：八王子の病院

○仕事

- ・市内：畑
- ・近隣市町：青梅市

○買い物

- ・市内のショッピングセンター

○その他

- ・運動で市内中心部

■交通手段

- ・自家用車が大半
- ・通勤にはJRも利用
- ・近隣では自転車を利用

■外出で困っていること

○車利用者

- ・道路が狭い
- ・車がないとどこへも行けない
- ・ガソリン代が高くなった
- ・大雪の時は除雪されない
- ・歩道がない、狭い
 - ⇒○車に乗れなくなった時にどうするか
 - 小ぶりののバスが来てくれれば…
 - 日常の買い物をどうするのか
 - 2~300 百円の鰯の干物を1枚買うのにタクシー代(1000円以上)を払えるか?

○自転車利用者

- ・歩道がない、狭い
- ・どこへ行くにも坂を上がらなければならない
- ・バス停が遠い

○JR利用者

- ・時間がかかりすぎる、1時間に2本のため

○その他

- ・バスは帰りの時間が合わず、帰ってこれなくなる

テーブルB

■外出の目的と目的地

○買物

- ・市内：・アルプス、いなげや、コメリ、秋川駅周辺(東急)
- ・近隣市町：イオン(日の出町)

○通院

- ・市内：阿伎留医療センター
- ・近隣市町：青梅総合病院、八王子医療センターなど

○その他

- ・運動・仕事は区域の周辺や市内中心部

■交通手段

- ・自家用車が大半
- ・区域内等には自転車を利用

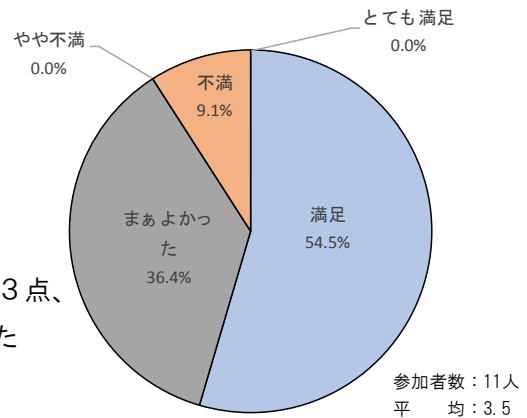
■外出で困っていること

- ・免許を返納すると交通手段がなくなる
- ・雨が降ると自転車が使えない
- ・駐車場が満車で使えない時がある
- ・道が狭く、歩行者が危険、自動車のすれ違いや自転車の追い抜きもできない、救急車が通れない時もあるなど問題が多い
- ・抜け道として使っている車がスピードを出して危険
- ・高低差があり、自転車の場合行きか帰りが大変
- ・バスは乗らないから、乗り方が分からない
- ・電車は本数が少なく、拝島で乗換えも必要で不便

■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満



平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの

○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・地元を見直せて良かった
- ・ワゴン車も公共交通にできない道幅であること
- ・車にたよっている日常に気づいた
- ・皆さん困っている事がよく分かりました
- ・電車、バスを乗るのは大変（時間、場所）
- ・車に乗れなくなった時の不便さを考えさせられました

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・道幅についての意見
- ・バスの運行
- ・タクシーでの買物はお金がかかりすぎる
- ・やはり車をたよる方が多い

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・初めてでよかった
- ・進め方はスムーズでした
- ・説明はよく分かった
- ・やはり道路がせまい・・・という課題は正解
- ・これから先の生活はどうなるのか
- ・コンサルタントが入ってくれた事
- ・まだよく分かりませんが、これからの期待します